

ふじみサラダボール子育て情報

「自然と共に生活することの大切さ」

令和6年1月17日号

板橋富士見幼稚園



様々な経験が知を伸ばす

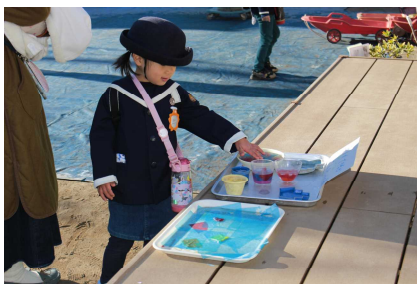
幼児期は、大人の何倍もの速さで成長します。そして経験を重ねるたびに、考える力や理解する力が高まり、知識が豊かになっていきます。

できるだけゆっくりと変化していく環境の中で、じっくり思いを巡らせ、落ち着いて物事を判断できるように子どもと生活していくことをお勧めします。モノの仕組みや自らの取り組み方を考え、トライして成功したり失敗したりしながら、螺旋状に知識を確固たるものとして記憶していきます。したがって静かにゆったりと物思いにふける中で、好奇心や探究心を育み、物事への関心や興味を持つことが重要になります。

そして時には、少しハイテンションとなる環境を織り交ぜながら、生活のリズムを作ってあげることも大切になります。ハイテンションは、まさに体力を培う機会となります。呼吸は脳への酸素や栄養を運び、思考力や、記憶力をサポートするためにも大切です。また当然、運動は健康な体作りにも必要になります。

ローテンションは、非認知能力 EQ を育て、ハイテンションは、直観力や身体的能力 IQ を育てていきます。

是非、毎日の暮らしの中で、変化に富み、好奇心が揺さぶられる体験を大切にしてほしいと思います。特に、自然と関わる体験は、多様な変化や考えと出会える場です。寒くなりますが、少しの時間でも、自然と触れ合わせてあげてほしいと思います。



【写真：寒さが厳しくなり、朝は氷や霜が張るようになりました】